

常設展示

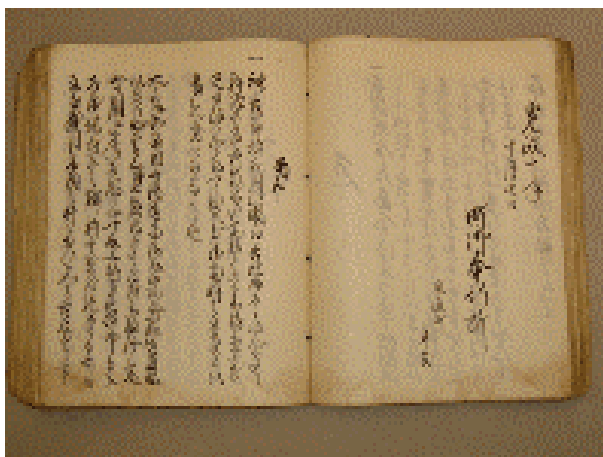
尾道商業会議所の設立に関する資料と建物の解説等を展示しています。

展示例



設立認可書

1892(明治25)年、農商務大臣後藤象二郎から設立を認可されたときの認可書



問屋年誌

尾道商人が商業会議所を必要とし、明治維新以来、日の浅い日本経済の発展に貢献し、立派に会議所運営が出来たのも江戸時代にあった問屋座に由来するところが大きいと言われている。

問屋年誌は、尾道町奉行から問屋座への通達や尾道港内の船の運航あるいは係船の規則や仲背賃の料金なども記録されている。また

1740(元文5)年には、休日の定め(正月元日、3月3日、5月5日、6月7日、6月14日、7月15日、9月9日、9月29日)もあった。

記載されている一番古い記録は1681(天和元)年で、最後は1850(嘉永3)年である。(尾道商工会議所所蔵)



福助の看板

足袋販売中国地方総本店末房商店にあった足袋の看板で、大正から昭和時代初期に漆喰で作られている。